

藤医会

藤医会会報

藤田医科大学医学部同窓会

2024年8月発行 年2回発行



表紙 | 藤田医科大学入学式

藤医会...

本学医学部卒業生（正会員）と大学院医学研究科卒業生（大学院卒業会員）ならびに在学生（学生会員）により運営されている同窓会組織です。1978年に第一回目の医学部卒業生の誕生と同時に設立されました。設立の目的は「会員相互の親睦と交流を図り、母校の発展と医学・医療の振興に貢献すること」にあります。おもな活動には会誌の発行、会員名簿の作成、教育・学術講演会の企画、懇親会の開催などがあり、会員間の情報交換の促進をはかり、親睦を深めることに寄与しています。そのほか、在学生の学習環境の整備と課外活動の充実を目的とした援助をおこなっております。今後も、会員サービス、後進の支援、母校への協力を三本の柱として活動していく予定です。

目次

七栗記念病院 病院長就任にあたり	P2
令和5年秋の叙勲 旭日双光章 受賞のご報告	P3
藤田医科大学病院の災害支援活動報告	P4
医学部 内科学講座(呼吸器感染症学)の臨床教授を拝命して	P5
令和5年度 藤医会総会	P6
令和5年度 藤医会 収支計算書・活動報告	P8
令和6年度 藤医会 収支予算案・活動予定	P9
藤医会卒業生教授就任記念講演会・懇親会	P10
支部会だより	P12
第118回(2023年度)医師国家試験の結果	P14
ご入学おめでとう	P15
2024藤田学園ホームカミングデーのご案内	P16



七栗記念病院 病院長就任にあたり

七栗記念病院 病院長
大高 洋平

2024年2月1日より、藤田医科大学七栗記念病院病院長を拝命いたしました大高洋平です。大変名誉なことである一方、責務の重さに身の引き締まる思いです。

七栗記念病院は、七栗一帯をヘルス・リゾート化する藤田啓介総長の七栗バーデン・バーデンの構想の一環として、1987年に七栗サナトリウムとして開設されました。その後、1997年には緩和ケア病棟、2000年にはリハビリテーションセンター開設、翌2001年には、回復期リハビリテーション病棟を開設し、高い専門性と科学的レベルの高いリハビリテーション、緩和ケア、栄養サポート、老年医療など、高齢化社会に資する高い水準の医療を全国のモデルとして、溢れ出る高齢者の医療ニーズを真正面から受け止め、発展してきました。改めて、いまから35年よりも前に、今日の超高齢社会を見据えて、七栗校地を開設されたことに総長の先見の明に驚きと感嘆を覚えます。

世界に類を見ない超高齢社会に加えて、人口減少に直面している我が国において、今まで以上に効果的・効率的、そして思いやりのある高齢者医療が求められていると認識しています。超高齢社会と人口減少のなかで、それを支える医療を創出していくことは、国家とし

て越えなければならない苦境ではありますが、一方でチャンスだとも思います。上手に立ち向かえれば、世界をリードする機会であると思います。ここでは、科学技術の応用とそれにともなう産業の創出、そして人材育成が鍵になると思います。今後、七栗記念病院では、活動モニタリング、ロボット等の先進技術、それらを統合した全く新しい「定量データに基づいて科学的に活動を育む仕組み」を実装し、世の中にモデルとして提示していきたいと思っています。またそのような先進的な医療環境のなかで、リハビリテーション医療、高齢者医療の活きた教育実践の場を提供したいと考えています。

質が高く安心できる医療を提供し、これまで通り近隣地域の医療の不可欠な施設として、より広域においては全国・世界のモデルとして、その存在意義を遺憾なく発揮するよう、時に大胆に変化することも恐れず、チーム力を最大限発揮して参りたいと思います。そして、七栗校地の藤田学園の活動の要として、発展できるようにいたします。

今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。





令和5年秋の叙勲 旭日双光章 受賞のご報告

藤田医科大学医学部一回生 石川県：洞庭医院

洞庭 賢一

昨令和5年秋に思いもかけぬことに旭日双光章をいただいた。今回、同窓会会长松山先生に一言書いてほしいと依頼があり、せっかくの機会でありこれも何かのご縁とお引き受けした次第である。平成2年に開業し今年で34年目である。開業後の医師会活動について知っていただくことにより今回の受賞の経緯をお分かりいただけると思い書いてみた。

平成2年に父が亡くなり、引く続き診療所をやることにした。今でこそ専門医制度が確立し、診療教育がされているが、当時の私は大学院終了後、基礎研究所助手となり臨床経験が少なかった。が幸いにも金沢市医師会では検診システムが始まっており、また病院ごとにカンファランスが開かれていた。そこで毎日のように診療が終わってから、医師会、病院に出かけて先生方から助言を頂いたり、勉強させていただいたり大いにお助けいただいた。そんなことがあります金沢市医師会の役員に声をかけてもらい、そこで8年。その後石川県医師会の役員を10年、いろいろな事業に参加していた事が認められて今回の叙勲につながったと思っている。多くの人々のご尽力、お導きで頂けたもので感謝しかない。

昭和47年当時名古屋保健衛生大学(現藤田医科大学)に入学した。振り返れば名古屋にいた約20年、特に医大生6年とそれに続く大学院4年間がその後の私にとっての医学、医療の道に与えた影響が大きかったと今更ながら思う。子供のころから医者になりたいと強く思っていたわけではない。私が小学校に入るのと同時に父が開業して、両親は夜遅くまで医院で仕事をしていた。日曜に家族でご飯を吃るのが両親とゆっくり過ごせる時間であり、平日は子供が先に食べて、両親は遅い夕食である。そういう家族の中で育ったが、医者、いや忙しい開業医だけはやりたくないと思ったわけでもなく、ただなんとなく自分は文系の頭ではないなと

思っていた程度であった。

何はともあれ、本学医学部に入れていただき、学生生活が始まった。同級生の1/3くらいは他の大学から進路変更したり、仕事を辞めて医学の道を目指した人であった。また医学部をひたすら目指して入ってきた人の意識・熱量の違いをひしひしと感じながらも、自分はなんとなく高校生の延長線上で勉強していたように思う。ともあれもう少し一生懸命やらないと、医師国家試験も通らないと危機感を覚え、その一方で内科とは外科とはこんな学問かと少し興味・関心が出てきた。

6年で卒業し、国家試験も何とか無事合格。外科か内科か迷った挙句循環器内科(水野康教授)に入ることにした。当時専門医制度が始まったばかりで、まずは新設された博士課程に入れていただくことにした。総合医科学研究所、医用電子工学(岡島光治教授)である。当時岡島教授は外来を少し診ておられたが、研究所が新設されたこともあり次第に外来は外れたように記憶している。その一方で先生は患者さんからいろいろな相談を受け、それならこの先生が良かろうということで紹介されておられたと思う。気さくで面倒見の良い、だれからも好かれるお人柄であった。大学院の4年間とその後研究室の助手で雇っていただき、都合10年岡島先生から受けた、医療、医学、診療に対する考え方方が、開業後の診療に大きな影響を及ぼしたと考えている。

との出会いというのは面白いもので、大学での出会い、開業してからの先生方との出会い、そういうことが幾重にも重なって今がある。そしてつまりは此度のありがたい叙勲につながったものと確信している。望むらくはもうしばらく、患者さんに安心、安全で質の良い医療を提供できる町医者として頑張っていきたいと思う。引き続きご支援ご指導いただければ幸いです。



藤田医科大学病院の 災害支援活動報告



藤田医科大学 医学部 救急医学・総合内科学 講座教授
岩田 充永

藤医会の皆様、平素より救急医療・災害医療活動において御指導ならびに御支援を賜りまして本当にありがとうございます。本年は初日から、大変な災害に遭遇いたしました。この度の災害に対し、衷心よりお見舞い申しあげますと共に、皆様のご無事と一日も早い復興をお祈りいたします。

貴重な誌面をお借りして、本学の災害支援活動の御報告をさせて頂きます。

① DMAT活動

当院は愛知県の基幹災害拠点病院としてDMAT(災害派遣医療チーム:Disaster Medical Assistance Team)の隊員資格を持った職員を多く有しています。元日の発災直後から情報を共有し、1月2日から2月10日まで合計4隊のDMATを派遣、能登総合病院、和島市役所、石川総合スポーツセンターで活動を行いました。これ程長期間にDMAT派遣要請が続くことは初めての経験でしたが、愛知県で最も多くの隊を出動することが出来ました。

② ヘリ支援活動

当院は、2月1日から愛知県2機目となるドクターヘリ運航基地病院として活動する準備を進めておりました。2023年12月時点で既にフライトスタッフの教育を行い、小牧空港には使用機種が到着している状況で2024年を迎えるました。石川県の要請で、愛知県知事の許可、星長理事長、白木病院長の多大な御尽力のもと1月5日より能登半島にヘリ出動し、医療物資搬送、医療者デリバリー、患者搬送を行いました。本学が何か新しいミッションを始まる前でも国難には「前倒しで貢献するのだ!!」というパッションは、2020年2月にダイアモンドプリンセス号の乗員乗客を岡崎医療センターで受け入れた経験を思い出し、胸が熱くなりました。

③ 金沢医科大学病院支援活動

金沢医科大学病院は被災地内の最前線の大学病院として、被災地から800名以上の入院患者を受け入れています。私立医科大学協会の繋がりや多くの御縁から、彼らの獅子奮迅の活動を知り、1月14日から2月7日まで医療スタッフを派遣し、「災害病棟(被災地からの救急入院を担当する)」の医療を本学のスタッフで担いました。金沢医科大学からは「通常の大学病院が担うべき医療と災害医療の両立が可能となった」と御礼の言葉を頂きました。災害時に大学病院どうしが支え合うしくみは非常に重要な事だと実感しました。金沢医科大学と藤田医科大学の今回の連携が、日本の災害医療での

大学病院の連携の先駆けとなることを強く期待します。

④ 穴水町避難所支援活動

若月徹准教授の指導で、1月14日より4月まで穴水町の避難所で教職員および学生がボランティア活動を行いました。避難所では避難者との対話、清掃活動など「華々しい事ではないが、欠くことができない」重要な任務を行いました。学生時代から「災害時の社会貢献」を意識し、医療系の国家資格を取得して社会に羽ばたいていく、藤田医科大学ってすげえなあと心底感動しました。

最後に、個人的に思いを少しだけ。

今回の本学の災害対応に末席で携わらせていただき、改めて藤田の一員であることを誇らしく思いました。

自身は他学を卒業し、2011年の東日本大震災での活動(前任地)で忸怩たる思いをし、2012年より藤田医科大学に移籍してまいりました。その際に「次に災害があった時には、組織として少しでも医療で貢献できるように」思いを新たにしたことを今も覚えております。

その後、2016年の熊本地震、2018年の倉敷豪雨、2020年のDP号乗客・乗員の受け入れに始まるコロナ禍、そして今回の2024年能登半島地震と、藤田医科大学だからこそできる災害時の継続的な医療支援を経験でき、確実に組織力が高まっていることを実感しております。全て、先生方が脈々と築き上げてこられた熱いハートの賜物です。

藤田啓介先生の「我ら、弱き人々への無限の同情心もて、片時も自己に驕ることなく医を行わん。」という信念が全ての卒業生のDNAレベルまで浸透していることに尊敬と羨望の念を禁じ得ません。

私も本学の「災害時の社会貢献」のミッションを達成すべく、微力ですが今後も尽力したいと思います。引き続きご指導を宜しくお願い致します。





医学部 内科学講座(呼吸器感染症学)の臨床教授を拝命して

藤田医科大学 医学部 内科学(呼吸器感染症学)講座 教授
林 正道 (19回生)

8月に入り厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この度、2024年2月1日付をもちまして藤田医科大学医学部内科学講座(呼吸器感染症学)の臨床教授を拝命いたしました。このような挨拶の機会をくださった藤医会関係者の方々に心より感謝申し上げます。

私は、1990年愛知県立刈谷高等学校を卒業後、藤田保健衛生大学に入学いたしました。1996年卒業後、末次勧先生(平成元年4月1日2代目教授就任)が主宰される呼吸器内学講座に入局いたしました。研修医終了後は常滑市民病院へ出向しました。その後、大学院を卒業し、2002年榎原博樹先生(平成11年4月1日3代目教授就任)のご指導の下、閉塞型睡眠時無呼吸症候群における末梢血Th1/Th2バランスの研究を行い、医学博士を取得いたしました。2004年東京慈恵医科大学DNA研究所の国内留学を経て、2005年からは米国ハーバード医科大学院に海外留学をし、樹状細胞を用いた癌ワクチンや免疫療法の研究を行いました。2006年帰局後は講師となり、気管支喘息やCOPDや睡眠時無呼吸症候群の臨床研究を行ってきました。2011年9月1日今泉和良先生の4代目教授就任に伴い医局長となり、医局の運営や後進の指導にも携わるようになりました。

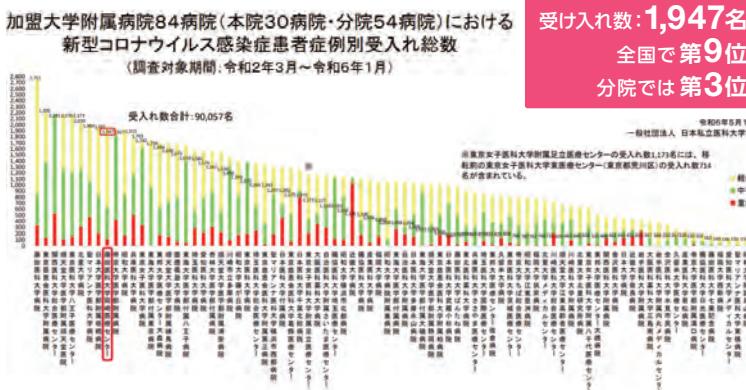
2020年2月19日新型コロナウイルス感染症無症候病原体保有者128名の受け入れを開院前であった藤田医科大学岡崎医療センターで行い、肺炎疑いなど他医療機関への搬送をへて、最大時106名が滞在した後、院内感染や地域に2次感染を起こすことなく3月9日に無事全員退所しました。私は主に受け入れやPCR検査(289回施行)を担当しました。こ

の場をお借りして、お世話になりました関係各所の方々に厚く御礼申し上げます。

このため予定より1週間遅れて、2020年4月7日藤田医科大学岡崎医療センター(第4教育病院、400床)が開院し、私は呼吸器内科責任者・感染対策室室長として赴任いたしました。三河地区初の大学付属病院として、岡崎市や幸田町の医療圏だけではなく、広く高度な医療を提供できるよう努力を続けています。開院後はCOVID-19パンデミックの影響で非常に激務でしたが、無症候性COVID-19の自然経過、医療従事者576名コロナワクチン副作用報告、第2波と第3波合計200名のCOVID-19入院患者の解析などで3本論文として報告をすることができました。また岡崎市保健所と協力し、中和抗体療法を706名に施行し重症化予防に尽力いたしました。2024年1月までの時点で1947名のCOVID-19入院受け入れを積極的に行ってきました。これは日本私立医科大学に加盟する84大学病院及び付属病院の第9位であり、分院だけでみると第3位にあたります。もちろん第1位は藤田医科大学病院であります。

今後の抱負としては、災害など有事の際には、診療だけではなく、『Fujita VISION 2030』に掲げられている『その時、いちばん動ける藤田学園へ』を現在6名と少数精銳の医局員ですが実践していきたいと考えています。

COVID-19パンデミックの様々な経験から、藤医会の皆様方のご支援は欠かせないものと実感しております。今後とも何卒変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



ダイヤモンド・プリンセス号SARS-CoV-2 無症状病原体保有者128名受け入れから4年経過。開院5年目を迎めました。

令和5年度
(2023年度)

藤医会総会 議事録

日時 令和6(2024)年2月24日(土)

場所 名古屋観光ホテル 3階 楓の間

16時30分 定刻開会

開会宣言(会長)

今年度逝去された藤医会会員へ、参加者全員で黙祷。

会長より議長を副会長根木に指名、承認。

代議員全33名中、会場参加15名、委任状13名により、本総会成立を宣言。



第1号
議案

令和5年度活動概要報告

- ・順延していた医学部創立50周年記念祝賀会が今年2月に開催。
- ・3年ぶりにホームカミングデー懇親会を開催(2023年10月28日)。
- ・医学部同窓会連絡会「西部会」および「全国会」も4年ぶりに開催。
- ・支部会活動は大阪支部会と東名古屋支部会(同7月)が開催。
- ・執行部会は月に一度、行事前には毎週または週に数回、主にWEB会議を行った。
- ・各支部訪問は今後再開する予定、各支部との連絡調整を進める。

第2号
議案

令和5年度会計報告 (審議) ⇒ 「全員賛成で承認」

- ・令和5年収支計算書の概要説明

・支部会等への活動費は徐々に再開される予定であるが、予算より低額で推移した。

・50周年記念誌の予算全体がまだ確定していないため、今年度は概算とした。

- ・[質疑1]:「奨学金」の支援寄付(学園に対して)について

奨学金利用者に医学部生が多いと聞いた。藤医会から学園側への寄付金の現状は?

(回答):現状、奨学金補助やバス運行支援を学園側に行っている。

特に奨学金については、7名中5名が医学部であることから、藤医会から藤田学園同窓会側へ、定期会費納入とともに奨学金贊助として100万円の追加贊助を支出している。

第3号
議案

令和6年度活動計画・予算案 (審議) ⇒ 「全員賛成で承認」

- ・活動計画の概要説明。
- ・50周年記念誌の発行、秋ごろまでに発送の予定。できれば機関誌夏号と同時に発送にもっていきたい。
- ・各支部会の開催と随時訪問の予定。
- ・今年9月に私立医学部同窓会「西部会」当番幹事の予定、準備を進めている。
 - ・「西部会」には藤医会理事、代議員、各支部長など大勢の参加を期待している。
- ・執行部会は月に一度のペースで引き続き進める。

第4号
議案

全国私立医科大学同窓会連絡会(西部会、全国会)報告

- ・第30回西部会(久留米医科大学主幹)が9月9日にホテルオークラ福岡で開催。
- ・西部会には藤医会福岡支部より梅谷先生、瀬戸先生、柳瀬先生が同席。西部会終了後に福岡支部連絡会を開催。同日には東名古屋支部会も開催。
- ・第31回全国会(獨協医科大学主幹)が11月25日に帝国ホテル東京で開催。

- ・全国会には藤医会東京支部より平野先生、三島先生が同席。全国会終了後に東京支部連絡会を開催。
- ・前述、今年9月に藤医会が主幹で「西部会」開催予定。藤医会理事、代議員、各支部長など大勢の参加を期待している。

第5号 議案

2023年藤田学園ホームカミングデー開催報告

- ・全体で272名の参加。今回は6回、16回生が対象。次回(今年)は7、17回生。
- ・懇親会(ANAグランコート)の前に開催した豊明キャンパス見学も好評であった。
- ・来年度のホームカミングデー開催後、藤医会で「二次会」も予定している。

第6号 議案

医学部創立50周年記念誌編集経過報告

- ・昨年2月に「医学部創立50周年記念式典」を開催。
- ・50周年記念誌を編集中。
- ・〔質疑1〕:記念誌の発送時期について
(回答):今年秋ごろに予定している。できれば機関誌夏号と同時に発送にもっていきたい。

第7号 議案

学内情報の報告(医学部入試・国家試験情報・大学近況等)

- ・医学部入試:試験日程(前期)を遅らせた影響か、受験者数が増えた。
- ・国家試験:新卒生の合格率は93%の見込み(昨年より低い)。
- ・学内近況:「スクールバス」が効果的に運用。震災もあり災害対策への意識が高まる。
- ・第16回 日本保健医療福祉連携教育学会学術集会を学内で開催(大会長:大槻先生)。
- ・ばんたぬ病院の新棟が完成し稼働中。
- ・先端医療研究センターと羽田クリニックが昨年開業、徐々に利用者が増えている。

第8号 議案

藤田学園同窓会活動報告

- ・活動概要の報告。
- ・奨学金補助(100万円)と通学バス運営費補助(100万円)が藤医会より支援。
- ・奨学金の代替として、東海東京証券の保険を利用している学生もいる。
- ・藤医会北陸支部からは無事の連絡あり(洞庭、向出、上出、大貫先生)。

第9号 議案

能登半島震災

- ・石川県に291名の学園卒業生(うち17名が医学部)が在住。
- ・中日新聞社を通じて50万円を寄付(学園同窓会、藤医会、藤衛会、藤医会名古屋支部)

第10号 議案

その他

- ・代議員制が無事にスタート、今後も円滑な総会活動を期待している。
- ・代議員については現状、藤医会理事の兼務者も存在し、定款上は問題ないが徐々に兼務の解消が望ましい。
- ・藤医会からの「表彰制度」(顕彰等)の提案。
(卒業生に関わらず藤田に貢献している人を幅広く表彰する)
- ・本総会のプレゼン内容の更新(主要メンバー等が変更されている)
- ・藤医会理事のうち、学内理事を変更していく予定。
- ・「名古屋三英傑」体験談の報告(根木先生)

令和5年度 藤医会 収支計算書

自 令和5年 1月1日
至 令和5年12月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減	摘要
会費収入	18,000,000	18,000,000	0	令和5年度入学生120名
雑収入	2,000,000	2,111,713	111,713	東京海上保険事務手数料 2,110,145円 受取利息 44円 その他1,524円
前年度繰越金	106,344,002	106,344,002	0	
合 計	126,344,002	126,455,715	111,713	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増減	摘要
1. 会報、会員名簿の発行 会誌発行費	1,500,000	1,634,991	134,991	山菊印刷、サラト
50周年記念誌作成費	8,000,000	1,726,176	△ 6,273,824	50周年記念誌
※ビデオ編集・出張費	2,000,000			
名簿作成費	1,500,000	0	△1,500,000	名簿維持管理費
2. 会員の福利厚生 藤田学園同窓会費	3,600,000	3,600,000	0	藤田学園同窓会へ (120名分)
全国医科大学同窓会費・支部訪問費	2,000,000	1,070,323	△ 929,677	会費、旅費、宿泊費等
研修医助成金	500,000	500,000	0	研修医補助金
3. 医学部と在学生への支援 寄附金	5,000,000	1,200,000	△ 3,800,000	藤田学園その他、学会賛助費 (史跡保存目的を含む)
医育助成基金	750,000	750,000	0	藤医会医育助成基金 (医学部管理)
海外留学生助成基金	750,000	750,000	0	藤医会国際交流基金 (医学部管理)
教育企画室賛助費	1,000,000	1,000,000	0	医学教育基金 (医学部管理)
国試対策助成費	1,000,000	1,000,000	0	藤医会国試対策 (医学部管理)
里親制度助成費	500,000	245,000	△ 255,000	研修希望学生の補助
奨学生積立金	1,000,000	1,000,000	0	学生のための奨学生積立
学生・会員向け備品費	500,000	0	△ 500,000	
4. その他の事業 総会会議費	2,500,000	1,256,975	△ 1,243,025	総会費、会議費等
藤医会室賃貸料	200,000	200,000	0	藤田医科大学2号館201
地代家賃	100,000	24,000	△ 76,000	駐車場代
慶弔費	1,500,000	720,319	△ 779,681	祝賀会、葬祭費等
通信費	500,000	74,629	△ 425,371	LAN、NTT、FAX、郵送費等
事務用消耗品費	500,000	295,623	△ 204,377	用紙代、事務費等
事務人件費	1,000,000	716,900	△ 283,100	
租税公課	100,000	71,000	△ 29,000	法人税等
顧問料	924,000	943,433	19,433	
雑費	500,000	312,036	△ 187,964	振込手数料等
5. 予備費	500,000	0	△ 500,000	
6. 次年度繰越金	88,420,002	107,364,310	18,944,308	
合 計	126,344,002	126,455,715	111,713	

令和5年度 活動報告

令和5年 1月 1月 7日(土) 1月11日(水) 1月16日(月) 1月23日(月) 2月 6日(月) 2月 6日(月) 2月13日(月) 2月19日(日) 2月20日(月) 2月24日(金) 2月25日(土) 3月12日(日) 3月20日(月) 4月 1日(土) 4月 5日(水) 4月 9日(日) 5月22日(月) 6月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・学内挨拶回り ・藤医会執行部会(ANAクラウンプラザグランコート名古屋「花梨」) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・卒業生ガイダンス ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤田医科大学医学部創立50周年記念式典 (名古屋マリオットアソシアホテル16階) ・藤医会ビデオメッセージ(同ホテル 17階 コスモスの間) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・第19回藤医会総会 (ANAクラウンプラザグランコート名古屋 28階 クリスタルルーム) ・升森・小出・西澤教授就任記念講演会 ・藤田学園合同卒業式 ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(名古屋観光ホテル「柳城」) ・新入生ガイダンス ・研修医ガイダンス ・藤田学園合同入学式 ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会執行部会(ウェブ) 	<ul style="list-style-type: none"> 7月10日(月) 7月22日(土) 8月21日(月) 8月 9月 9日(土) 9月11日(月) 10月 8日(日) 10月16日(月) 10月28日(土) 10月30日(月) 11月11日(土) 11月20日(月) 11月25日(土) 12月1日(金) 12月 2日(土) 令和6年 1月 2月24日(土) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・大阪支部会 ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会機関誌夏号発刊 ・第30回全国私立医科大学連絡会西部会 (主幹 久留米大学医学部同窓会 ホテルオークラ福岡) 東名古屋支部会(TKP名古屋栄カンファレンスセンター) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・白衣式 ・藤医会執行部会(ウェブ) ・ホームカミングデー (ANAクラウンプラザグランコート名古屋 7階 ザ・グランコート) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤田学園同窓会総会 ・藤医会執行部会(ウェブ) ・第31回全国私立医科大学連絡会全国会 (主幹 獨協医科大学同窓会 東京プリンスホテル) ・藤医会執行部会(ウェブ) ・藤医会理事会(名古屋観光ホテル 18階 SUZUKAの間) ・藤医会機関誌冬号発刊 ・第20回藤医会総会・藤医会卒業生教授就任記念講演会・懇親会
--	--	--

令和6年度 藤医会 収支予算案

自 令和6年 1月 1日
至 令和6年12月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘要
会費収入	18,000,000	令和6年度入学生120名
雑収入	2,000,000	東京海上保険事務手数料等 2,000,000円
前年度繰越金	107,364,310	
合 計	127,364,310	

支出の部

科 目	予算額	摘要
1. 会報、会員名簿の発行		
会誌発行費	1,500,000	山菊印刷、サラト
50周年記念誌作成費	8,000,000	50周年記念誌（ビデオ編集費含む）
名簿作成費	1,500,000	名簿維持管理費
2. 会員の福利厚生		
藤田学園同窓会費	3,600,000	藤田学園同窓会へ（120名分）
全国私立医科大学同窓会費・支部訪問費	2,000,000	会費、旅費、宿泊費等
研修医助成金	500,000	
3. 医学部と在学生への支援		
寄附金	5,000,000	藤田学園その他、学会賛助費（史跡保存目的を含む）
医育助成基金	750,000	藤医会医育助成基金（医学部管理）
海外留学生助成基金	750,000	藤医会国際交流基金（医学部管理）
教育企画室賛助費	1,000,000	医学教育基金（医学部管理）
国試対策助成費	1,000,000	藤医会国試対策（医学部管理）
里親制度助成金	500,000	
奨学生積立金	1,000,000	学生のための奨学生積立
学生・会員向け備品費	500,000	
4. その他の事業		
総会会議費	5,000,000	総会費、会議費・西部会開催費等
藤医会室賃貸料	200,000	藤田医科大学2号館201
地代家賃	100,000	駐車場代
慶弔費	1,500,000	祝賀会、葬祭費等
通信費	500,000	LAN、NTT、FAX、郵送費等
事務用消耗品費	500,000	用紙代、事務費等
事務人件費	1,200,000	
租税公課	100,000	法人税等
顧問料	924,000	
雑費	500,000	振込手数料等
5. 予備費	500,000	
6. 次年度繰越金	88,740,310	
合 計	127,364,310	

令和6年度 活動予定

令和6年			
1月	・学内挨拶回り	8月 3日(土)	・福岡県支部会予定
2月 5日(月)	・卒業ガイダンス	8月	・藤医会機関誌夏号発刊
2月24日(土)	・第20回藤医会総会（名古屋観光ホテル）	9月 7日(土)	・第30回西部会 藤医会主幹（名古屋観光ホテル）
	・早川基治教授・西尾永司教授就任記念講演会・祝賀会	10月19日(土)	・東京支部会
3月10日(日)	・藤田学園合同卒業式	10月26日(土)	・ホームカミングデー・藤医会二次会
4月3-5日(水・金)	・新入生ガイダンス	11月	・第32回全国会（未定）
4月	・研修医ガイダンス	12月	・藤医会機関誌冬号発刊・名簿発刊はなし
4月 7日(日)	・藤田学園合同入学式	12月7日(土)	・藤医会理事会（名古屋観光ホテル）
5月	・藤医会名古屋支部総会	令和7年	
6月 8日(土)	・藤田学園同窓会	2月15日(土)	・第21回藤医会総会
6月22日(土)	・神奈川支部会		・藤医会卒業生教授就任懇親会
7月 6日(土)	・北海道支部会		

原則として月一回、執行部会開催、年三回程度、理事会開催

藤医会卒業生教授就任 記念講演会・懇親会

❖ 卒業生教授就任記念講演会 ❖

日 時 令和6年2月24日(土) 午後6時～7時

会 場 名古屋観光ホテル 3階 楠の間

《 講演 I 》 医学部脳神経外科学 教授 早川 基治 (14回生)
演題名: 合縁奇縁～多種多様な先生方との出会い～



講演II 医学部産婦人科学 教授 西尾 永司(20回生)
演題名: Fujita VISION 2030 -本邦初への挑戦-



卒業生教授就任懇親会

日時 令和6年2月24日(土) 午後7時～8時30時

会場 名古屋観光ホテル 3階 桂の間 司会 大槻 真嗣(藤医会副会長)

挨拶 黒田 誠(藤医会会长) 挨拶 日本医師会常任理事 細川 秀一(4回生)

2022年6月25日に日本医師会常任理事にご就任されました

細川秀一先生よりご挨拶をいただきました。

・乾杯・歓談・花束贈呈&新教授挨拶(2名)・閉会の辞:根木浩路





支部会だより

神奈川県支部会

藤医会神奈川県支部会報告

この度、東京支部の支部会所属神奈川県支部を発足いたしました。大きなつながりも小さなつながりも大切だと感じ、日頃繋がりのある同窓の先生方と食事会を、と考えた事が発足のきっかけとなりました。当日は藤医会から根木先生、篠崎先生、東京支部会からは平野先生がご参加くださり、根木先生には藤田の現況などスライドにてご説明いただきました。集合写真を撮ると話していたにも関わらず時間を忘れて話し込んでしまい、撮影を失念してしまったほどの盛会となりました。

私事ではありますが、20年前に手探りで始めた在宅診療も、周囲の方々や患者様ご自身とご家族に助けられて生活を見るができるような形となってまいりました。この20年間というもの暗中模索の日々の繰り返しで、連携の肝要性をひしひしと肌身で感じる出来事がこれまでにも数多くあり

ました。近年では横浜市医師会の地域包括ケアシステム事業部会に参加するようになった事もあり連携力を上げる仕組みはないか?と考えるようになりました。

今回の同窓会で、案内のお手紙を出していたところ、ある病院からのご紹介いただいた患者様を担当していた医師が同窓生であった事が発覚し、今まで以上に心強さと親近感を感じ、不思議な魔法がかかったようでした。同窓会は懐かしさはもちろん連携力をあげる『繋がりの魔法』をかける手がかりになると実感しました。この魔法の力を広げ、さらに強めて行く為にも、同窓会を大きな単位でだけでなく小さな単位でも定期的に継続して開催することが重要なだと痛感いたしました。

次回、神奈川県支部開催は来年の6月、東京支部会は10月19日(土)京王プラザホテルの予定です。神奈川県在住でない方もご都合が合うようでしたらぜひ、横浜観光のついでにお顔をお見せくださいませ。皆様の奮ってのご参加お待ち申し上げております。

(21回生 黒田 理佐)

ご参加いただいた先生

平野 功 先生 (4)・小井戸則彦 先生 (7)・山田 峰彦 先生 (10)・加藤 忍 先生 (14)・門山 浩 先生 (17)
原田 英博 先生 (20)・石川 範和 先生 (21)・平野 資晴 先生 (21)・黒田 理佐 先生 (21)・眞鍋 雄太 先生 (24)
藤原 里沙 先生 (26)・亀山 梨奈 先生 (26)・臼井 秀仁 先生 (29)・横山 正 先生 (30)・河東 壇 先生 (46)

藤医会 根木 浩路 先生(6)・篠崎 仁史 先生(15)



北海道支部会

藤医会北海道支部会報告

2024年7月6日の19時30分よりJRタワーホテル日航札幌で北海道支部会が開催されました。幹事の6回生 直江和彦先生の周到な準備の下で5年ぶりに開催されました。会長の1回生 猪野健二郎先生の細かな配慮のご挨拶に続いて、5回生 坪谷隆二先生の乾杯のご発声で始まりました。毎回出席の先生や初めて参加される先生も八雲町立病院など何らかの共通点があったり和やかな雰囲気で進んでいきました。当位階からの大学の報告も興味深くお聞きいただき、母校の活躍を誇らしく感じて頂けたと思います。最後に全員で記念写真を撮影し、来年も開催するとの約束をして散会となりました。



(副会長 根木 浩路)

ご参加いただいた先生

猪野 健二郎 先生(1)・坪谷 隆二 先生(5)・直江 和彦先生(6)・成田 康美 先生(9)・大橋秀徳 先生(10)・中島 信夫 先生(12)
杉元 重治 先生(18)・宮下 憲暢 先生(20)・永井 美江 先生(22)・後藤 佳子 先生(25)・佐藤 千草 先生(28)

藤医会 根木 浩路 先生(6)

大阪支部会

大阪支部会訪問

7月下旬、猛暑を跳ね返す勢いで大阪支部会（総会、懇親会）が開催されました。天方義郎先生の司会進行、支部会長梅村先生の開会宣言で総会が始まり、幹事の三戸先生から収支決算報告が行われ（承認）、そのまま懇親会へと流れていきました。宴は乾杯直後から大盛況（流石大阪！）、執行部からの大学近況報告では羽田や他の開催済み支部会（神奈川、北海道）の話題が盛り上りました。例年は外部講師の講演が組まれていますが今回は予定されず、代わりにフリートークタイム（参加者が交代で壇上に立ちに自由に語る）を行いました。

「今後いかに参加者（特に若手）を増やしていくか」や「支部会運営の形をどのように維持していくか」といった、どの支部でも共通する話題を中心と



なりました。

懇親会終了時に集合写真を撮影、ほぼ全員そのまま二次会へと流れ懇親を深めました。

（執行部参加 黒田、篠崎）

► 好調維持！ 第118回（2023年度）医師国家試験の結果

医師国家試験（以下、国試と略）の結果をご紹介します（表参照）。新卒120名中117名が合格し、合格率97.5%（全国平均95.4%）（82校中30位）でした。既卒者を合わせた全体では、123名中119名が合格し、合格率96.7%（全国平均92.4%）（82校中12位）と今 年も好成績でした。事前の国試予備校2社の自己採点を用いた予測では、新卒が9名、又は、11名が不合格となるといった予想が出ていましたので安堵しました。合格ラインが予想よりも少し上がり、ボーダーライン上の学生が殆ど合格しました。

本学の平均正答率は85.9%と全国平均86.7%を下回っていましたが、本学の学生は全国的にみて正答率の高い問題を確実にとれたので、好成績に繋がりました。これは初期研修に必要な知識が身についていることも意味します。

国試の順位を上げるため卒業試験の合格点を操作して留年者を増やす大学もありますが、本学はそのような方法をとりません。予め、教務委員長が年度初めに卒業試験の合格基準点を事前に予告し、卒業判定教授会においてもこの点数を変更しません。卒業生として相応しい知識を身につけていることを担保した上で、国試の合格者と不合格者を識別する点数が合格基準点になるよう卒業試験問題の精度を高めることができているからです。

医学教育企画室室長
臨床総合医学 教授 大槻 真嗣

国家試験合格率

	新卒者	合格者数	合格率	国試受験者総数	合格者数	合格率
第118回（2023年度）	120名	117名	97.5%	123名	119名	96.7%
第117回（2022年度）	113名	111名	98.2%	118名	114名	96.6%
第116回（2021年度）	113名	109名	96.5%	117名	112名	95.7%
第115回（2020年度）	104名	102名	98.1%	111名	107名	96.4%
第114回（2019年度）	112名	106名	94.6%	120名	113名	94.2%

2024年就職状況一覧表

	病院(本学)	病院(他大学)	病院(一般)	進学(本学大学院)	進学(大学院)	その他	合計
人数	28名	19名	70名	0名	0名	3名	120名
%	23.4%	15.8%	58.3%	0.0%	0.0%	2.5%	100%

2023年度卒業生の進路（研修先）

愛知県	藤田医科大学病院	愛知県	刈谷豊田総合病院	東京都	東京遞信病院
	藤田医科大学ばんたね病院		公立西知多総合病院		東京北医療センター
	藤田医科大学岡崎医療センター		公立陶生病院	神奈川県	湘南鎌倉総合病院
大学病院			春日井市民病院	新潟県	済生会新潟病院
愛知県	名古屋市立大学病院		小牧市民病院	長野県	長野市民病院
	名古屋大学医学部附属病院		聖霊病院		飯田市民病院
千葉県	順天堂大学医学部附属浦安病院		総合上飯田第一病院	岐阜県	中津川市民病院
静岡県	国際医療福祉大学熱海病院		総合大雄会病院		岐阜県立多治見病院
京都府	京都府立医科大学附属病院		大同病院		大垣市民病院
	京都大学医学部附属病院		中部ろうさい病院		中濃厚生病院
大阪府	大阪医科大学病院		独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	静岡県	聖隸三方原病院
	大阪公立大学医学部附属病院		八千代病院		静岡赤十字病院
	大阪大学医学部附属病院		半田市立半田病院		島田市立総合医療センター
奈良県	奈良県立医科大学附属病院		豊橋市民病院		浜松医療センター
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院		名古屋掖済会病院	三重県	三重北医療センターいなべ総合病院
福岡県	久留米大学病院		名鉄病院		三重県立総合医療センター
	九州大学病院	北海道	KKR札幌医療センター	滋賀県	淡海医療センター
一般病院			岩見沢市立総合病院	大阪府	高槻赤十字病院
愛知県	JA愛知厚生連 海南病院	栃木県	済生会宇都宮病院		淀川キリスト教病院
	JA愛知厚生連 江南厚生病院	埼玉県	国立病院機構 西埼玉中央病院	兵庫県	医療法人三栄会ツカザキ病院
	JA愛知厚生連 豊田厚生病院		埼玉メディカルセンター	福岡県	九州労災病院
	知多厚生病院	千葉県	聖隸佐倉市民病院		健和会大手町病院
	稻沢市民病院		総合病院国保旭中央病院	沖縄県	浦添総合病院
	岡崎市民病院		津田沼中央総合病院		

HOME COMING DAY

2024藤田学園ホームカミングデーのご案内

恒例となりました『藤田学園ホームカミングデー』、今年も下記日程で開催いたします。藤田学園の卒業生はどなたでも参加できますので、同級生や部活先輩後輩などお誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

開催日 **2024年10月26日(土)**

第一部：キャンパス見学会

11:00～15:00

〔総合受付〕 豊明キャンパス内「フジタモール」前の芝生広場

〔受付時間〕 10:30～11:00 (名札、Mapと昼食券配布)

(※ フジタEXPO.2024 (学園祭)、オープンキャンパス、市民公開講座など)

第二部：懇親会

18:00～20:00

〔会場〕 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 7F「ザ・グランコート」
(JR、名鉄、地下鉄「金山総合駅」徒歩1分)

〔受付時間〕 17:00～



申込方法 藤田学園同窓会ホームページ『2024ホームカミングデー&懇親会』

www.fujita-hu.ac.jp/dosokai/homecoming/schedule.html

(準備の都合上、必ず参加申し込みをお願いいたします。)

申込期間 令和6年8月1日(木)～令和6年10月5日(土)

参加費 無料

※ 第一部のみ、または第二部のみ、の参加も可能です。

※ 豊明キャンパスから懇親会会場までは各自でご移動をお願いします。



卒後周年記念対象 1974年卒(卒後50年) 1984年卒(卒後40年) 1994年卒(卒後30年)
(医学部7回生) (医学部17回生)

共 催 藤田学園、藤田学園同窓会

連絡先 藤田学園同窓会 事務局 dosokai@fujita-hu.ac.jp Tel & Fax 0562-93-5674

ホームカミングデー終了後「藤医会二次会」を開催します

学園全体参加のホームカミングデー終了後、一部の恩師を囲んで藤医会会員の二次会を準備しております。同級生とのプチ同窓会や、部活やクラブ仲間とのOBOG会の場としてもご利用いただけます。今年のホームカミングデー卒後周年記念対象の「7回生」、「17回生」の先生方は積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

開催日 **2024年10月26日(土) 21:00～**

場 所 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 28階スカイバンケット「クリスタルルーム」
会場の準備状況により21:00頃の開始予定

会 費 **5000円**

連絡先 藤医会事務局 toikai@fujita-hu.ac.jp Tel: 0562-93-4025 Fax: 0562-93-4021

申込方法 右記の二次元(QR)コードから申し込みをお願いします。
<https://forms.gle/ZSeEyA34fGcRaqpq9>



藤医会事務局

住 所 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98 藤田医科大学2号館 2階
一般社団法人 藤医会(藤田医科大学医学部同窓会)

電 話 ①藤田医科大学2号館 2階 藤医会室 0562-93-4025 (月・水・木 午後2時～4時30分)
②藤田医科大学2号館 14階 管理室 0562-93-2794 (月～金:午前10時～午後3時30分)

FAX 0562-93-4021